

# 授業科目 NO. 806 助産学方法論Ⅲ

## (助産診断技術学:産じょく・新生児期)

Midwifery III (Diagnosis and Techniques  
: Puerperium and Neonatal Periods)

授業の形態 : 講義

単位数(時間数) : 2単位(30時間)

開講年次・学期 : 4年次・前期

必修・選択の別 : 選択・助産師選択コース必修

キーワード : 妊娠期、産じょく期、健康診査、助産診断、助産ケア、  
保健指導

### 1 金沢医科大学看護学部の到達目標 (全科目共通です)

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 看護学の知識と技術、及び実践力
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

### 2 学習目標

#### 1) 一般目標 (GIO)

正常及び異常な経過にある褥婦・新生児の特徴や変化を踏まえ、産褥期及び新生児期の助産診断と健康診査に必要な知識・技術を修得する。

#### 2) 行動目標 (SBO) ※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部の到達目標との関連を示す。

- (1) 褥婦及び新生児の助産診断ができる。(②)
- (2) 褥婦・新生児の特性や個別性を考慮したケアを立案することができる。(②)
- (3) 産後1か月までの母子の健康診査における計画、実施、評価の展開ができる。(②③)
- (4) 母乳育児支援に必要な知識を修得できる。(②)

### 3 学習内容

授業の内容については、授業計画に示す。

## 4 評 価

評価項目	評価割合
定期試験成績	40%
実習成績	
レポート	40%
授業態度	
小テスト	
口頭試問	
その他	20%
合計	100%

(特記事項) ロールプレイ、ディスカッション 20%

## 5 教 育 担 当 者

科目責任者：山崎 智里

准 教 授	山崎 智里 (母性看護学・助産学)
講 師	三反崎 宏美 (母性看護学・助産学)
助 教	林 智美 (母性看護学・助産学)
助 手	大嶋 舞香 (母性看護学・助産学)
非常勤講師	平田 彩夏

## 6 教 科 書

- 1) 江藤宏美 (編)：助産師基礎教育テキスト第 6 巻 産褥期のケア/新生児期・乳幼児期のケア、日本看護協会出版会
- 2) 小林康江編：助産師基礎教育テキスト 第 7 巻 ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア、日本看護協会出版会
- 3) 北川真理子、内山和美 (編)：今日の助産 マタニティサイクルの助産診断・実践過程、南江堂
- 4) 水野克己：改訂第 2 版 よくわかる母乳育児 へるす出版

## 7 推 薦 参 考 書

- 1) 我部山キヨ子、武谷雄二 (編)：助産学講座 7 助産診断・技術学Ⅱ〔2〕分娩期・産褥期、医学書院
- 2) 石井邦子他 (編)：助産学講座 8 助産診断・技術学Ⅱ〔3〕新生児・乳幼児期、医学書院
- 3) 水野克己 (著)：母乳育児支援講座、南山堂
- 4) 公益法人 日本産科婦人科学会、公益法人 日本産婦人科医会：産婦人科診療ガイドライン 産科編 2020、公益法人 日本産婦人科学会事務局
- 5) 病気が見える Vol.10 産科、Medic Media

## 8 準備学修に必要な時間及び具体的な学習内容

- 1) 授業 1 コマにつき、事前学修・事後学修として計 180 分程度必要である。
- 2) 母性看護学で学修した産褥期・新生児期に関する知識の復習を行っておくこと。また、助産診断立案過程で必要となる知識は教科書、推薦参考書等を基に幅広い知識を得ることが必要である。学修内容はノートにまとめ、理解できない内容については、授業時に教員の指導を受けて学修を進めること。また、学修の進め方や内容については授業毎に説明する。
- 3) 産後 1 か月までの母子の健康診査について、本学図書館所蔵の乳幼児健診マニュアル 第 6 版（電子ブック）等の乳幼児健診に関する本や教科書等を読み、退院後 1 週間健診及び 1 か月健診の診査項目と基準値についてノートにまとめて記載しておくこと。

## 9 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

- 1) レポートについては、作成過程及び提出後に直接コメントしてフィードバックする。
- 2) ロールプレイに関しては、評価表を基に到達度や課題をフィードバックする。

## 10 履修上の注意事項

- 1) しっかりと事前学修をして授業に臨むこと。
- 2) レポートは、積極的に教員の指導を受けて計画的に作成すること。
- 3) 作成したレポートは、実習時に活用するので整理しておくこと。
- 4) ロールプレイは、臨床実習時の服装とする。

## 11 オフィスアワー等

質問は随時可。ただし事前にメール連絡等することが望ましい。

山崎 E-mail : [chisasa@kanazawa-med.ac.jp](mailto:chisasa@kanazawa-med.ac.jp)

第4学年

助産学方法論Ⅲ  
(助産診断技術学:産じょく・新生児期)

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	レポート/小テスト等	講座・科目群名	教員名
前	1	4月05日(水)	3	講義	産褥期・新生児期の助産診断とは		母性看護学・助産学	山崎准教授
前	2	4月05日(水)	4	講義	産褥期・新生児期の助産診断 1		母性看護学・助産学	林助教,山崎准教授,三反崎講師,大嶋助手
前	3	4月06日(木)	3	講義	助産師が行う母乳育児支援1		母性看護学・助産学	平田非常勤講師,山崎准教授,三反崎講師,林助教,大嶋助手
前	4	4月06日(木)	4	演習	助産師が行う母乳育児支援2	レポート	母性看護学・助産学	平田非常勤講師,山崎准教授,三反崎講師,林助教,大嶋助手
前	5	4月12日(水)	3	講義	産褥期・新生児期の助産診断 2		母性看護学・助産学	林助教,山崎准教授,三反崎講師,大嶋助手
前	6	4月12日(水)	4	講義	産褥期・新生児期の助産診断 3		母性看護学・助産学	林助教,山崎准教授,三反崎講師,大嶋助手
前	7	4月19日(水)	3	演習	産褥期・新生児期の助産ケア 1	ロールプレイ/ディスカッション	母性看護学・助産学	林助教,山崎准教授,三反崎講師,大嶋助手
前	8	4月19日(水)	4	演習	産褥期・新生児期の助産ケア 2	ロールプレイ/ディスカッション/レポート	母性看護学・助産学	林助教,山崎准教授,三反崎講師,大嶋助手
前	9	4月26日(水)	3	講義	退院時診断及び産後1か月まで母子の健康診査:計画立案1		母性看護学・助産学	平田非常勤講師,山崎准教授,三反崎講師,林助教,大嶋助手
前	10	4月26日(水)	4	講義	退院時診断及び産後1か月まで母子の健康診査:計画立案2		母性看護学・助産学	平田非常勤講師,山崎准教授,三反崎講師,林助教,大嶋助手
前	11	5月24日(水)	3	講義	退院時診断及び産後1か月まで母子の健康診査:計画立案3		母性看護学・助産学	平田非常勤講師,山崎准教授,三反崎講師,林助教,大嶋助手
前	12	5月24日(水)	4	講義	退院時診断及び産後1か月まで母子の健康診査:計画立案4		母性看護学・助産学	平田非常勤講師,山崎准教授,三反崎講師,林助教,大嶋助手
前	13	5月31日(水)	3	演習	産後1か月まで母子の健康診査の実施、評価1	ロールプレイ/ディスカッション	母性看護学・助産学	平田非常勤講師,山崎准教授,三反崎講師,林助教,大嶋助手
前	14	5月31日(水)	4	演習	産後1か月まで母子の健康診査の実施、評価2	ロールプレイ/ディスカッション	母性看護学・助産学	平田非常勤講師,山崎准教授,三反崎講師,林助教,大嶋助手
前	15	5月31日(水)	5	演習	産後1か月まで母子の健康診査の実施、評価3	ロールプレイ/ディスカッション/レポート	母性看護学・助産学	平田非常勤講師,山崎准教授,三反崎講師,林助教,大嶋助手